

1. 作業前の確認

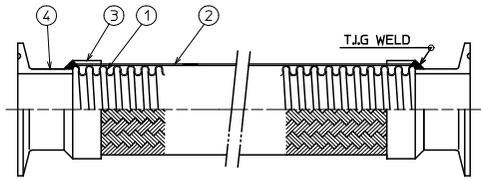


表1 部品表

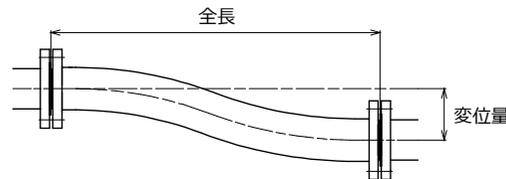
品番	部品名	材質
1	ヘローズ	SUS304
2	ブレード	SUS304
3	ブレード押え	SUS304
4	フェルール	SUS304

施工前に次の事項についてご確認下さい。

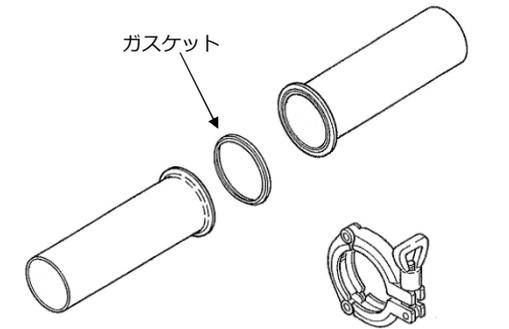
- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無い

2. 配管への取り付け

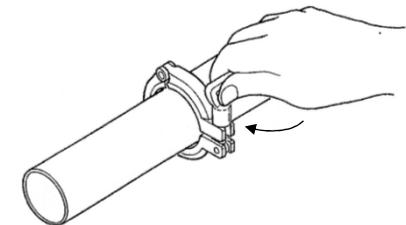
- ① ガasketをシール面からずらさないように、また、シール面を傷つけないよう製品を配管継手間にセットして下さい。
- ② 実際の配管変位が許容変位量内であることを確認して下さい。



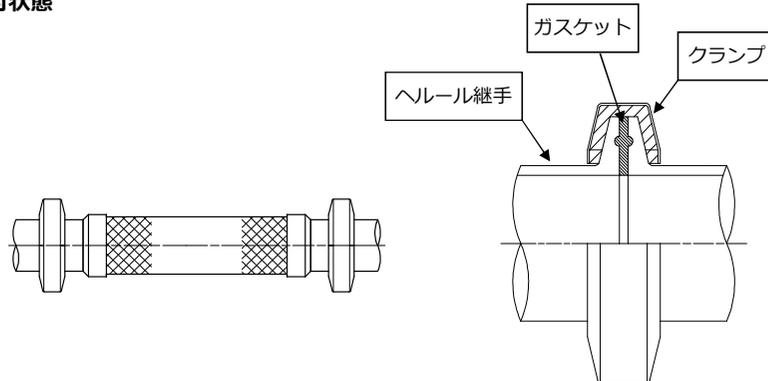
3. クランプの締め付け



ガasketをセットし、継手のシール面を平行にした上で、クランプを取付け、締め付けて下さい。



取付状態



⚠ 注意事項

- ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。その様な場合は適切な衝撃防止対策を行って下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないよう、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速（内径基準）が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- ステンレスに対して腐食性を有する流体については、ZTFシリーズ(フッ素樹脂製)をご使用下さい。